

1 事案の例と留意点

(1) ネットでの仕返し・トラブル (SNS 拡散)

【事案】「スマホの画面を割られた」という理由から、広めるつもりがなかった相手の「はだかの写真」をネット (SNS) に拡散し、仕返しやケンカに発展したケース

《留意点》

- ・相手の表情が見えないため、エスカレートしやすい。
- ・一度拡散された情報は広がり続け、完全に消すことはできない。
- ・悪口の投稿などは「罪 (つみ) に問われる可能性」がある。

(2) 金銭トラブルと依存 (投げ銭など)

【事案】手をつけてはいけぬお金 (親のお金など) に手を出して「投げ銭」をしてしまい日常生活に支障をきたすケース

《留意点》

- ・使った金額が目に見えないため、金銭感覚が麻痺しやすく「依存」につながる。
- ・動画などの「高評価」が本当に正しいものかどうかの正常な判断が難しくなる。

(3) 詐欺・迷惑メール・有害サイト

【事案】詐欺メールや有料サイトへの登録誘導などが多く存在し、若い世代 (中高大学生含む) が犯罪に巻き込まれるケース (増加)

《留意点》

- ・メールやサイトが本物なのかニセ物なのか見分けることが非常に難しくなっている。正しい知識をもって賢く対応する必要がある。

2 自分の身を守るための対策

(1) ネットを利用する際の心得

- ・「立ち止まって、考える」：感情に任せてすぐにメッセージや写真を送らない。
- ・情報を鵜呑みにしない：ネットの情報をすぐに信用せず、「ホントに正しいか？」と疑う目を持つ。
- ・個人情報の保護：個人情報を安易に登録・公開しない。

(2) トラブルの予防策 (ルール作り)

- ・家族などでルールを作り、それを必ず守る。
- ・スクリーンタイムの活用：スマホを見る時間を制限し、使いすぎを防ぐ。
- ・フィルタリングの活用：有害なサイトやアプリへのアクセスを制限する。

(3) トラブルに遭ってしまった時の対応

- ・証拠を残す：メールの保存や画面のスクリーンショット (スクショ) を残しておく。
- ・すぐに相談する：違和感を覚えたりトラブルに巻き込まれたりしたら、一人で悩まずに、すぐに周囲の大人や専門機関に相談すること。